



555 VipavadeeRangsit Road, Chatuchuck 10900 Tel. 0 2553-8111, Fax: 0 2553-8222

---

プレスリリース/ PRESS RELEASE

---

第 85/2563 (Aor. 33) 号  
2020 年6月30日

### タイ自動車メーカー、タイで電気自動車生産能力を増強 と投資委員会語る

世界中でよりクリーンな自動車の採用の動きが高まる中タイ投資委員会（BOI）は既に自動車メーカーによる24のプロジェクトを承認しこれにはハイブリッド電気自動車（HEV）、プラグインハイブリッド電気自動車（PHEV）そしてバッテリー電気自動車（BEV）等を含む全てのタイプの電気自動車の同国内で生産を対象としている。BOIのデータに因ればこの合計容量は年間50万台以上である。

世界、地域、国内市場でEVへの移行が進んでいる状況の中、タイでは自動車およびそのサポートセクターにおける強力な基盤や戦略的な立地そしてEVの生産に投資する自動車メーカーの投資を誘致するための包括的な投資インセンティブを期待している。

承認されたプロジェクトの中には三菱自動車（タイ）のレムチャバン工業団地にある同社の既存の自動車生産ラインをアップグレードするための54.8億バートの投資が含まれており同社はこれにより2023年からの年間生産を9,500 BEVと29,500 HEVの合計39,000台が可能になる。BOIは6月にもSammitr Groupによるペチャブuri県での30,000 BEVの生産のための55億バートの投資も承認した。どちらのプロジェクトも他の殆どのプロジェクト同様、地元の市場およびに輸出用で主に他のASEAN諸国への輸出を目的としている。

が承認されたその他のメーカーにはBMW（PHEVの生産およびに高電圧バッテリーとバッテリーモジュール生産のためのDRÄXLMAIERグループとのパートナーシップ）そして「First One Mile Mobility」を意味する新しい日本のEVブランドであるFOMMが含まれる。同社はチョンブuri県の工場でコンパクトBEVの生産を開始している。そして数年前からタイでのハイブリッド車生産に多額の投資を行っている日産自動車は極最近新しいBEV生産プロジェクトの承認を受けた。

BOIがEVサプライチェーンのすべての主要な側面をカバーする包括的な一連のインセンティブを展開して以来5つのHEVプロジェクト、6つのPHEVプロジェクト、13のBEVプロジェクトが承認された他、同機関は合計容量で年産50万個の10のバッテリー生産プロジェクトと年間4,400以上のコンセントを作る2つの充電ステーションの生産プロジェクトを承認した。と、BOIの産業連携開発部門のエグゼクティブディレクターであるSonklin Ploymee氏は最近あったアジアの電気自動車市場に関するウェビナーで語った。

東南アジア最大の自動車生産ハブであるタイは自動車産業に関するローカルの規定要件がないため製造業者にとってサプライチェーン管理がより楽になっている。とソククリン氏はASEAN持続可能なエネルギーウェビナーシリーズの一部であるCovid-19発生のインパクトに関してとの議題の中で語った。

タイ電気自動車協会副会長のKrisda Utamote氏によると、タイでは、EVの採用が継続的に拡大しており2019年に新規登録されたHEV / PHEVは30,000を超え更に1,200を超える電気自動車とオートバイが登録され、それに加えて約750のチャージ用コンセントが約500の場所に設置されたとの事である。

ブルームバーグNEFのアレンアブラハムがウェビナーで語ったところによると2020年はコロナウイルスの影響により市場は当初乗用EVの販売が減少し前年比18%減の170万台になると予測しているとの事である。しかし2023年の乗用EVの販売台数は540万台に急回復すると予想されているとの事である。そして同氏曰く、特に中国とヨーロッパでの成長は政策支援とリチウムイオン電池の開発によるものだ、と指摘した。

更なる情報は下記までお問合せください

Thailand Board of Investment

Tel. +66 (0) 2553 8111

Website: [www.boi.go.th](http://www.boi.go.th)

-----